

講義コード	11C0121501	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	社会保障論2				神野 真敏			第2期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	本講義では、なぜ社会保障という制度が必要なのか、そもそも社会保障とはどのような制度なのかなど、実際のデータを用いつつ理論的に社会保障の重要性・問題点を講義します。主に労働支援や格差の指標、そして社会保障の財源調達について講義します。								
到達目標	社会保障について経済学的な視点から現状を分析し、その存在意義と問題点を学生が理解し、学生が自らの言葉で説明できるようにする。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	社会保障に分類される、労働支援や児童手当に関する記事に目を通し、知見を深めておいてください。 講義した内容を毎回1時間程度復習してください。(合計120時間以上)								
授業計画	【第1回】前期の確認と今後の予定 【第2回】生活保護制度の基本的な仕組み 【第3回】生活保護制度の問題点 【第4回】生活保護制度の国際比較 【第5回】雇用保険制度の基本的な仕組み 【第6回】雇用保険制度の問題点 【第7回】育児を取り巻く制度の基本的な仕組み 【第8回】育児を取り巻く制度の問題点 【第9回】育児を取り巻く制度の経済分析 【第10回】障害者福祉政策の基本的な仕組み 【第11回】所得格差の指標（1） 【第12回】所得格差の指標（2） 【第13回】財源調達の経済分析（1） 【第14回】財源調達の経済分析（2） 【第15回】講義全体のまとめと授業評価								
成績評価の方法	期末テスト（100％）にて評価します。								
フィードバックの内容	適宜理解度を測る調査を行い、そのフィードバックを授業内にて行う。								
教科書	『経済学で考える社会保障制度』安岡匡也（中央経済社）2017								
指定図書									
参考書	『社会保障の経済学』小塩隆士（日本評論社）2013、『財政学をつかむ』畑農他（有斐閣）2015								
教員からのお知らせ	社会保障の代表格である年金制度は保険制度です。保険とは何か、この点から講義を始めていきます。理論的な講義を行いますが、現実の数字にも目も向け、理解しやすく講義を行うつもりです。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室にて対応します。								
その他									